



JALまね

MINI DISCLOSURE 2022

島根県農業協同組合
中間期ディスクロージャー誌2022

はじめに

皆さまには、日頃より島根県農業協同組合（愛称 JAしまね）をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

さて、このたび当JAでは半期（9月末）ディスクロージャーについて開示いたしますので、皆さまの当JAに対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当JAは、皆さまに信頼されお役に立てる島根県唯一の総合農業協同組合として、農業の振興並びに地域社会の発展に貢献できるよう努めてまいり所存でございます。

今後とも、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年12月 島根県農業協同組合

PROFILE （令和4年9月30日現在）



- 設 立 年 月 日 平成27年3月1日
- 本 店 所 在 地 島根県松江市殿町19番地1
(代表：0852-67-7700)
- ホ ー ム ペ ー ジ <https://ja-shimane.jp/>
- 出 資 金 214億円
- 総 資 産 額 1兆1,508億円
- 単体自己資本比率 13.16%程度
- 組 合 員 数 219,120人
- 役 員 数 46人
- 職 員 数 3,135人

(注) 本誌は、農業協同組合法施行規則第207条に基づいて作成した中間期ディスクロージャー誌です。

CONTENTS

1. 経営理念	1
2. 令和4年度上半期決算の概要	2
3. 社会的責任と地域貢献活動	4
4. 単体自己資本比率	8
5. 不良債権の状況	8
6. 有価証券等時価情報	9
7. 財務諸表	10
8. 主な事業所の配置図	11

1. 経営理念

基本理念

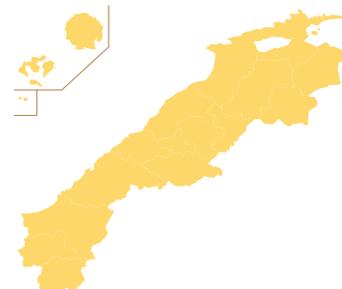
「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- 1. 地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- 1. 地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- 1. 水と緑と人を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

基本目標

「信頼、満足、熱意、みんな一番」

- し** …組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
- ま** …組合員・利用者の満足、一番をめざします
- ね** …仕事への熱意、一番をめざします



2. 令和4年度上半期決算の概要

農業関連事業

購買事業

生産購買品供給高は、資材供給において肥料の価格改定前の需要増等により前年を上回ったものの、農機部門は、需要の低迷から前年を下回った結果、62億95百万円となりました。

販売事業

販売品取扱高は、米穀部門において、令和3年産米の販売単価が令和2年産米に比べ下落し前年を下回ったものの、野菜・果実部門において、主要品目であるぶどう・玉ねぎの販売が増加し前年を上回り、また、畜産部門では、肉用牛等の取り扱い額が前年を上回っているが、仔牛市場価格や酪農の副産物である乳牛仔牛価格の低迷が大きく影響した結果、193億39百万円となりました。

生活事業

生活購買品供給高は、原油価格上昇等によるガスの料金改定と石油製品の小売単価上昇、店舗の改装前の特別セール実施により前年度を上回る実績となる等、全体で90億75百万円となりました。

信用事業

貯金残高は、個人貯金・公金貯金の増加や共済の満期金の流入等により、1兆155億72百万円となりました。

貸出金残高は、住宅ローンを中心に個人貸出金が増加する一方、財政資金の償還等により、2,769億10百万円となりました。

また、有価証券残高は、1,623億61百万円となりました。

共済事業

保有高は、長期共済保有高が2兆9,598億49百万円、年金共済保有高230億29百万円となりました。長期共済保有高においては、建物更生共済の満期や生命系共済の払込終了による影響もあり、減少傾向が続いています。

損益の状況

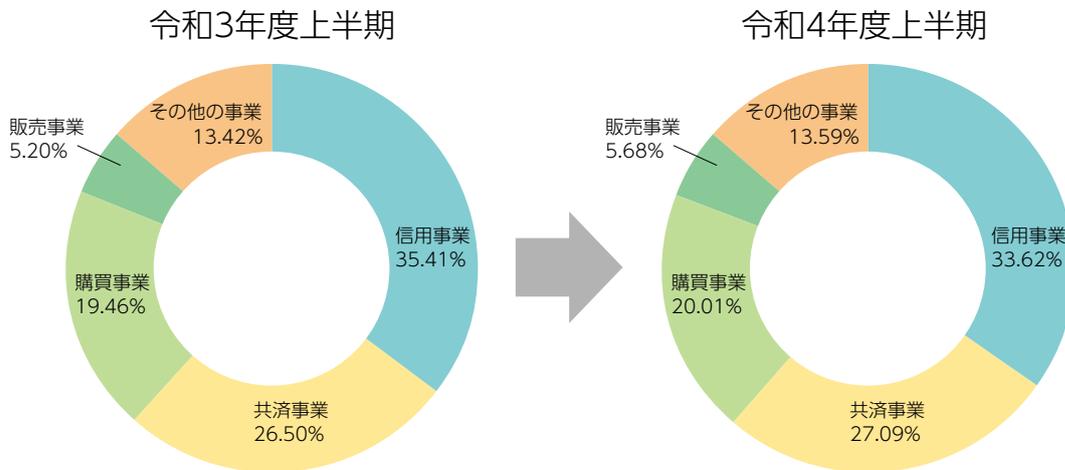
損益の状況は、事業総利益が120億15百万円、経常利益が11億28百万円となり、当期剰余金は7億70百万円となりました。

(単位：百万円)

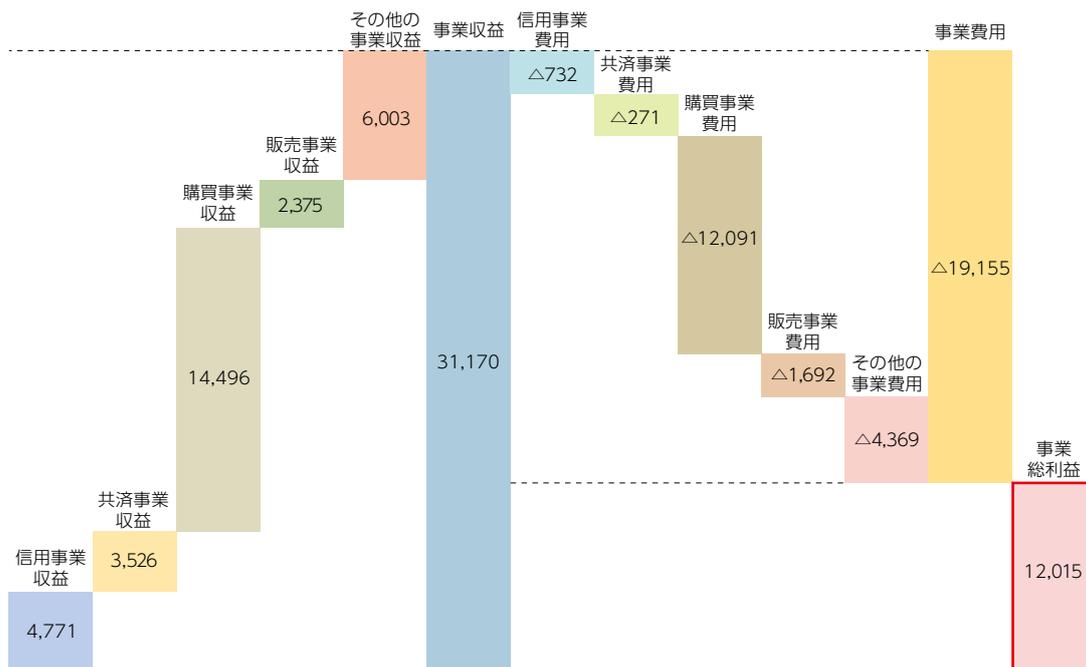
事業	項目	令和3年度上半期	令和4年度上半期	令和2年度	令和3年度
農業 関連	生産購買品供給高	6,346	6,295	12,694	10,818
	販売品販売・取扱高	19,819	19,339	37,997	38,252
生活	生活購買品供給高	9,015	9,075	18,626	17,739
信用	貯金（譲渡性貯金含む）	1,011,362	1,015,572	996,444	1,011,169
	貸出金	278,249	276,910	283,689	279,400
	有価証券	145,544	162,361	137,189	147,067
共済	長期共済保有高	3,096,799	2,959,849	3,183,785	3,045,745
	年金共済保有高	23,212	23,029	23,276	23,066
損益	事業総利益	12,868	12,015	25,961	24,924
	経常利益	1,513	1,128	2,307	1,901
	当期剰余金	1,044	770	1,716	675

(注) 販売品販売・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計額。

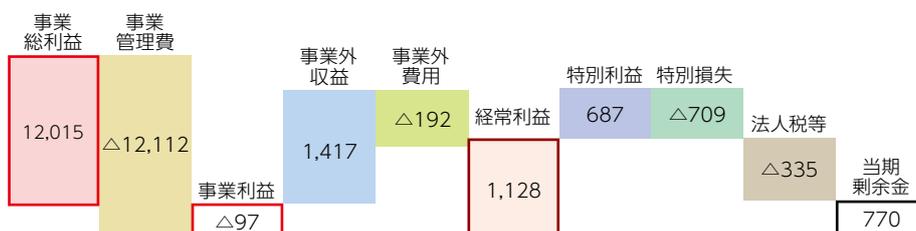
事業総利益に占める各事業の割合（上半期決算）



事業総利益の増減要因（令和4年度上半期決算） （単位：百万円）



当期剰余金の増減要因（令和4年度上半期決算） （単位：百万円）





3. 社会的責任と地域貢献活動

農業は、生産活動を通じて豊かな食生活の基礎を築くだけでなく、洪水や土壌浸食の防止、水資源のかん養など多面的な機能を通じて、みどり豊かな国土や環境の維持形成とその保全にも貢献しています。

当JAは、島根県を事業区域として、農業者を中心に地域住民の方々が組合員となり、相互扶助を共通の理念に運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する農業協同組合です。

当JAは農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、1県1JAとしての「協同の力」（人材・設備・資金）の結集と盤石な財務基盤を活かして、地域社会の一員として地域経済の継続的発展につとめています。

(1) 地域貢献の全般に関する事項

<地域密着型金融への取り組み>



① 新型コロナウイルス感染症への対策事業

JAしまねは新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている農業者、事業者の皆さまの相談窓口を設置し、島根県との連携で取扱う「新型コロナウイルス感染症対策資金」等により、資金繰りなどの支援に取り組んでいます。

本資金は、令和2年3月より取扱いを開始し、令和4年9月末時点では、81件、13億68百万円のご利用をいただいています。

また、コロナ禍により消費が減少している県産品の消費拡大支援策として、「しまね和牛」をプレゼントする定期貯金キャンペーンを実施しました。

② 「認定農業者支援資金」の取扱い

認定農業者の皆さまの農業経営に必要な設備資金や運転資金等幅広い資金需要に迅速かつ簡便にお応えできる「認定農業者支援資金」を取扱いしています。

本資金は平成28年4月より取扱いを開始し、令和4年9月末現在で1,165件、34億53百万円のご利用をいただいています。

引き続き認定農業者の皆さまの円滑な事業運営と農業生産向上のお役にたつてまいります。

③ 「JAバンク食農教育応援事業」の実施

子どもを対象とした食農教育を通じ、子どもの農業に対する理解を深め、農業のファン層を拡大するとともに地域の発展に貢献することを目的として、県内小学校の5年生及び教員の皆さまに食農・環境保全・金融経済教育にかかる教材本を8,204冊贈呈しました。

④ 子育て応援事業

JAしまねは、島根県が展開する「しまね子育て応援事業」に賛同し、協賛店として様々な商品において子育て世帯を応援しています。

住宅ローン・マイカーローン・教育ローンでは、「子育て応援宣言」として、子育て世帯の方に対する金利の優遇を行っています。

貯金商品でも18歳以下のお子様がいいらっしゃる方を対象とした金利上乘せ定期積金をご用意しています。

⑤ ライフプラン・コンサルティング（相談業務）の取り組み

組合員・地域の皆さまの「年金」「資産形成」「相続」にかかるご相談にお応えするため、「年金」は支店に、「資産形成」は統括支店に、「相続」は県域3拠点（松江市、出雲市、浜田市）に担当者を配置しています。

人生100年時代といわれ私たちを取り巻く環境が変化しているなか、様々なニーズへの個別相談及び相談会やセミナーの定期的開催により、おひとりおひとりのライフプランに適した情報の提供を行っています。



(2) 地域からの資金調達の状況

(単位：千円)

種 類		令和 4 年 3 月 末	令和 4 年 9 月 末
預り先	組 合 員	850,510,496	850,637,820
	うち同一世帯に属する者	166,613,789	165,366,213
	うち非営利法人	108,218,531	111,642,833
	うち地方公共団体	70,039,680	73,158,019
	組合員以外	160,658,520	164,933,738
合計		1,011,169,017	1,015,571,558

(3) 地域への資金供給の状況

(単位：千円)

種 類		令和4年3月末	令和4年9月末
貸出金貸出先	組 合 員	208,053,413	209,194,299
	うち同一世帯に属する者の 貯金担保貸付	142,588	142,388
	うち非営利法人（地方公共団 体を除く）の貯金担保貸付	36,440	33,670
	組合員以外	71,346,589	67,715,672
	地方公共団体	42,937,963	41,351,295
	地方公社等	1,532,038	640,290
	金融機関	9,868,000	10,868,000
	その他	17,008,587	14,856,087
	合計	279,400,003	276,909,972

(4) 文化的・社会的貢献に関する事項

<地域社会に貢献する活動>



①交通安全運動

交通安全意識の高揚と事故防止に役立てていただく為、夜光反射テープと反射タスキ及びカーブミラーを贈呈しました。また、スタントマンによる交通事故の実演を通して安全を考える自転車の交通安全教室を開催しています。

②子育て支援事業

島根県に在住の妊娠中の方を対象として、「JAしまね子ども倶楽部」を展開し、共済事業を通じた子育て支援を継続的に取り組んでいます。

③スポーツを通じたの健全育成

子どもたちのスポーツを通じたの健やかな成長とふれあい、友情の輪を深めることを目的に、学童野球大会などを主催しています。

④伝統行事・地域イベントへの参加

例年、花田植えや地域の祭り等の伝統行事や地域のイベントに参加・参画し地域との交流を促進していますが、本年もコロナの影響でイベント等が中止となっています。

⑤環境保全運動

「JAしまね・JAしまね女性部統一行動」の一つとして、県内全域で「おもてなしプロジェクト」に取り組み、みどりのカーテンや支店周辺の美化活動による環境保全に取り組んでいます。

⑥地域貢献・地域活性化支援

地域貢献・地域活性化に取り組むグループや団体の活動を支援する事業に取り組んでいます。



<くらしの活動関係>



①食農教育

親子クッキングスクール、あぐりキッズスクール、学童農園、出前授業等の活動を通じて「食農教育」を行っています。年間を通じたカリキュラムを立て、体験を通して食や農の大切さを伝えています。

②生きがいづくり講座

いつまでも輝く女性であるための自分磨きや、学びの場を通じての仲間づくりを目的として、概ね40代までの女性の方を対象にJA女子大学を開講しています。

講座は、毎月1回を目安に1年コースまたは2年コースでカリキュラムを組んでおり、文化教養や農業体験、料理教室等幅広い内容となっています。

また、シニア大学なども開講し、幅広い年代のいきがいづくりに取り組んでいます。

③健康増進

JA島根厚生連と連携し、健康診断や各種健診を通じて、組合員の健康管理に努めています。また、介護予防教室、助けあい組織によるミニデイサービス等を開催し、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



4. 単体自己資本比率

令和4年3月末	令和4年9月末（推計値）
13.42%	13.16%程度

（注）令和4年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 令和4年9月末の単体自己資本比率（推計値）は、令和4年3月末のオペレーショナルリスク相当額及び令和4年9月末の自己資本額・信用リスクアセット額（推計値）に基づき算出している。
2. 令和4年9月末の信用リスクアセット額（推計値）の算出にあたって、一部の項目については令和4年3月末の額（データ）を使用している。

5. 不良債権の状況

（単位：千円）

債権区分	令和4年3月末	令和4年9月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	627,517	620,861	△ 6,655
危険債権	2,380,118	2,354,873	△ 25,244
要管理債権	295,010	291,881	△ 3,129
小 計	3,302,646	3,267,616	△ 35,029
正常債権	277,123,493	274,184,164	△ 2,939,329
合 計	280,426,140	277,451,780	△ 2,974,359

※令和4年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

1. 各債権区分額は、令和4年3月末時点の債権額を基準として、令和4年9月末時点の残高に修正している。

6. 有価証券等時価情報

有価証券

(単位：千円)

保有区分	令和4年3月末			令和4年9月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	8,900,000	9,018,555	118,555	9,201,717	9,242,045	40,328
その他	130,465,501	138,167,057	7,701,555	147,873,377	153,159,902	5,286,524
合 計	139,365,501	147,185,612	7,820,110	157,075,094	162,401,947	5,326,852

(注) 1. 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2. 帳簿価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他目的有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。

金銭の信託

(単位：千円)

区 分	令和4年3月末			令和4年9月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
運用目的	496,064	496,064	—	496,064	496,346	282
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	3,065,990	3,136,072	70,081	5,065,990	5,009,263	△ 56,727
合 計	3,562,054	3,632,136	70,081	5,562,054	5,505,610	△ 56,444

(注) 1. 9月末の金銭の信託の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

2. 帳簿価額については、運用目的金銭の信託については取得価額を、満期保有目的金銭の信託またはその他目的金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

7. 財務諸表

①貸借対照表 (要約)

(単位：千円)

科 目	令和3年度 (令和4年3月31日現在)	令和4年度上半期 (令和4年9月30日現在)	科 目	令和3年度 (令和4年3月31日現在)	令和4年度上半期 (令和4年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
1 信用事業資産	1,014,585,131	1,027,421,783	1 信用事業負債	1,040,688,882	1,054,416,143
2 共済事業資産	4,709	8,963	2 共済事業負債	4,671,686	5,608,402
3 経済事業資産	14,558,875	14,629,828	3 経済事業負債	5,057,126	4,234,044
4 雑資産	6,269,983	5,620,718	4 雑負債	2,736,428	2,458,088
5 固定資産	35,443,546	34,434,800	5 諸引当金	7,056,519	6,797,891
6 外部出資	68,017,010	68,017,811	負債の部合計	1,060,210,643	1,073,514,570
7 繰延税金資産	25,795	712,569	(純資産の部)		
資産の部合計	1,138,905,051	1,150,846,474	1 組合員資本	73,072,406	73,564,968
			2 評価・換算差額等	5,622,002	3,766,936
			純資産の部合計	78,694,408	77,331,904
			負債及び純資産の部合計	1,138,905,051	1,150,846,474

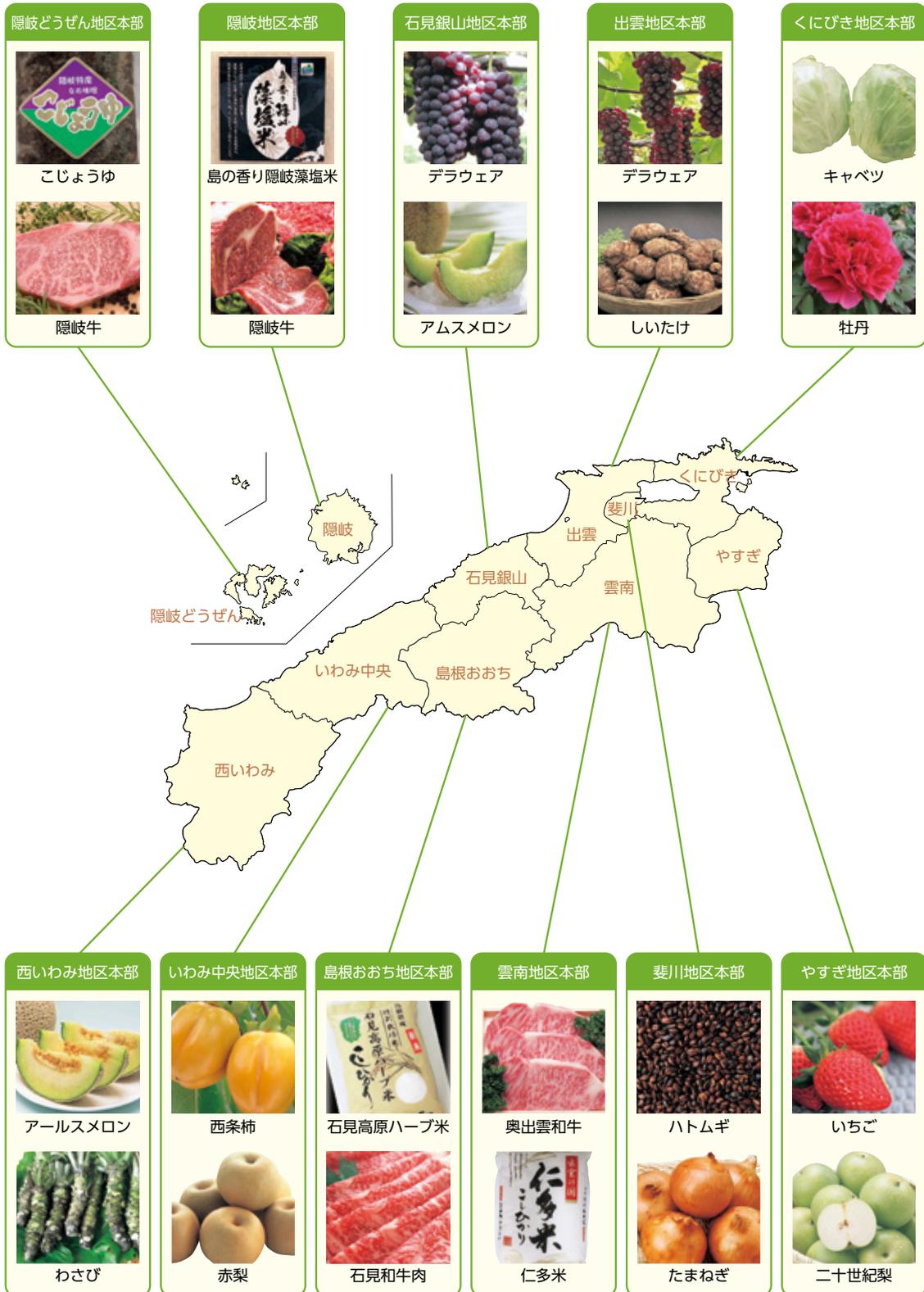
②損益計算書 (要約)

(単位：千円)

科 目	令和3年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	令和4年度上半期 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	科 目	令和3年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	令和4年度上半期 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
1 事業総利益	24,924,061	12,015,401	2 事業管理費	24,348,095	12,111,906
(1) 信用事業収益	9,677,730	4,771,498	事業利益	575,965	△ 96,505
(2) 信用事業費用	1,274,277	731,631	3 事業外収益	1,830,656	1,416,974
信用事業総利益	8,403,453	4,039,867	4 事業外費用	504,925	192,330
(3) 共済事業収益	7,094,600	3,525,504	経常利益	1,901,697	1,128,138
(4) 共済事業費用	601,756	270,801	5 特別利益	499,153	686,890
共済事業総利益	6,492,843	3,254,703	6 特別損失	1,562,433	709,479
(5) 購買事業収益	30,429,659	14,495,891	税引前当期利益	838,417	1,105,549
(6) 購買事業費用	25,037,173	12,091,424	7 法人税、住民税 及び事業税	130,088	335,219
購買事業総利益	5,392,485	2,404,466	8 法人税等 調整額	32,885	—
(7) 販売事業収益	3,995,400	2,374,801	法人税等合計	162,973	335,219
(8) 販売事業費用	2,658,845	1,691,861	当期剰余金	675,443	770,330
販売事業総利益	1,336,555	682,940	当期首繰越剰余金	624,106	590,041
保管事業総利益	179,697	65,169	会計方針の変更による 累積的影響額	60,013	—
加工事業総利益	428,799	150,257	遡及処理後当期首 繰越剰余金	684,120	—
利用事業総利益	995,273	687,117	経営基盤強化 積立金取崩額	694,916	—
葬祭事業総利益	1,295,891	645,915	税効果積立金取崩額	55,975	—
宅地等供給事業総利益	32,893	16,013	当期末処分剰余金	2,110,455	1,360,372
農業経営事業総利益	45,118	△ 32,576			
その他事業総利益	491,390	115,652			
指導事業収支差額	△ 170,341	△ 14,127			

8. 主な事業所の配置図

〈県全体〉 地区本部の事業エリア及び主な特産品





くにびき地区本部

やすぎ地区本部





〈西部・隠岐〉事業所配置図 (令和4年11月30日現在)

-  本部・地区本部
-  支店・出張所・店
-  営農・経済センター
-  生活店舗 (業務委託店舗を含む)・グリーンセンター・農産物直売所・ファミリーマート
-  給油所 (業務委託店舗を含む)
-  葬祭施設 (業務委託店舗を含む)

JAしまね SDGs目標達成に向けた取り組み

- ・JAしまねが掲げる「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」という基本理念は、SDGsが掲げる基本理念である「誰一人取り残さない」と共通するものです。
- ・JAしまねでは、組合員と地域の暮らしを守ることを目的に、自己改革を通じてSDGsの目標達成に貢献しており、JAしまねの行う各事業はSDGsの目標と親和性が高く、引き続き農業協同組合として各事業を展開し、SDGsの目標達成に向けて取り組みます。



SDGs17の開発目標

「SDGs」アイコン一覧

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「SDGs」17の目標

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナースHIPで目標を達成しよう

●SDGsとは

「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

【外務省ホームページより】



持続可能な食料の生産と農業の振興



JALまねでは、持続可能な農業を実現するため、様々な担い手に対して積極的な支援、活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指しています。

- 新規就農者を含む地域の担い手の育成
- 農業振興支援事業の実施
- スマート農業の推進
- 島根県農畜産物の安全安心の取り組み

© よい食P



農業生産における環境負荷の軽減の取り組み



JALまねでは、自然の恩恵を地域に根ざすエネルギーとして、安全なクリーンなエネルギーの活用・確保に向けた取り組みを行っています。

- 小水力発電
- 太陽光発電等



持続可能なフードシステムの構築



JALまねでは、地域で生産された新鮮な農畜産物が、地域内で直接販売され、最後まで安全に消費されています。また、6次産業化により生産振興や生産者手取り拡大につながるよう、地場産品による特産品開発・商品開発も進めています。

- 地産地消活動
- 直売所・ファーマーズマーケット
- 加工事業
- 販売促進活動



安心して暮らせる持続可能で豊かな地域社会づくり



JALまねでは、豊かなくらしやすい地域づくりのための、ふれあい活動として「くらしの活動」に取り組み、活動を通じ、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指しています。

- 食と農に関する活動
- 地域貢献活動
- 支店ふれあい活動



地域社会への貢献



JALバンク、JA共済は組合員・利用者に安心と満足を提供するため、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

- 地域社会への安定的な金融サービスの展開
- 共済仕組みによる保障提供サービスの展開



多様な関係者・仲間との連携・参画



- JALまね支店ふれあい活動・JA女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実践
- JALまね、JALまね女性部、島根県農協青年組織協議会が協力し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により困窮している大学生へ米を支援
- 地域の方や子供たちに向けての農業体験、食農教育活動





島根県農業協同組合

〒690-0887 松江市殿町19-1 (島根JAビル)